

研究主題 未来へつなぐ心豊かなたくましい幼児の育成 ～主体的な遊びや生活を通して～

I 団体の概要

昭和21年、東京都保育会として活動を開始。戦前、戦中、戦後と大変な時代の中でも、日本の将来を担う子供たちのために、よりよい保育を目指して共に学ぼうと発足した。社会の変化とともに変わりゆく課題に対応し、東京都における幼児教育を推進する役割を担っている。会員は東京都公立幼稚園・こども園の教員、会員数は令和6年803名である。令和7年度は創立80周年を迎え、令和8年度には創立80周年記念式典を挙行予定である。

II 研究主題について

近年、子供たちを取り巻く社会は急速に変化し続けている。未来を担う子供たちには、このように社会の在り方が劇的に変化していく時代の中でも、心豊かにたくましく自らの人生を生きていく力を身に付けてほしいと考える。心豊かにたくましく生きていく力を育てていくために、幼稚園・こども園においては、幼児教育を担う場として、幼児の主体的な遊びや生活を保障し、豊かな経験が得られる環境をつくり、一人一人の成長につなげていくことが大切である。そのために教師は、幼児の主体性を引き出す環境の構成や指導方法、具体的な教材、並びに幼児の育ちにつながる評価のあり方について学び、自身の感性を磨き、指導力を向上させることが必要である。また、公立幼稚園・こども園の役割として、地域の幼児教育の拠点園として、地域に幼稚園教育要領の趣旨やこれに基づく実践を浸透させ、地域の幼児教育の質の向上に努めることも重要である。幼児期にふさわしい生活を保障し、心豊かなたくましい幼児の育成を未来へつないでいくために、研究を進めている。

III 研究概要

【総会・講演会】

令和6年4月17日(水) 会場 江東区文化センター
演題「試行錯誤し続けられる大人になるためには幼児期に何が必要か」
～享受能力・心理的安全性・天然知能、そして学びの身体化～
東京学芸大学自然科学系基礎自然科学講座物理学分野
准教授 小林 晋平 氏

【実技研修】

令和6年6月5日(水) 会場 港区立芝浦小学校
「普段の保育に役立つあそび」～明日から使える運動遊び～
総合体育研究所専任講師
運動遊びコンサルタント 山田 秀一 氏

【夏季研修会】令和6年8月20日(火)

○Zoomによるオンライン研修
第1部会「気になる子への支援を考える」～特別支援教育の視点から～
筑波大学附属大塚特別支援学校
研究主任/教務主任 佐藤 義竹 氏
第2部会「保育を豊かにする造形遊び」
淑徳大学総合福祉学部 教授 槇 英子 氏
○研修を受けた内容を踏まえ、各園で実践した内容を幹事がまとめ、
研究報告書に掲載

【講演会】令和6年9月11日(水) 会場 江東区文化センター

「fufuわくわく秋のコンサート」～無償の愛のような音楽と空間～
歌手 日野原 希美 氏 ピアニスト 藤本 ゲン 氏

【研究発表会】令和7年2月19日（水） 会場 江東区文化センター

○研究奨励園発表

- ・「環境に自ら関わり、主体的に活動する幼児・児童の育成」
～「遊び」と「学び」をつなぐ幼小の円滑な接続を目指して～
荒川区立町屋幼稚園・荒川区立第七峡田小学校
- ・「幼児が安心してわくわく園生活を楽しむために」
～幼児一人一人の特性を理解した援助の工夫～
葛飾区立水元幼稚園

○講演

演題 「つながる」幼児教育を目指して
聖心女子大学現代教養学部教育学科
教授 河邊 貴子 氏

IV 研究・研修内容（一部抜粋）

【実技研修会】

明日からすぐに実践に生かせる、2人組の手遊びや運動遊び、運動会にも取り入れられるバルーンや競技について紹介していただいた。テンポのよい先生の楽しいトークにより参加者も夢中で動いていた。実際に動くことで遊びの面白さを実感でき、笑顔あふれる楽しい研修会となった。

『ジャンケン遊び』…片手をつないでジャンケン。負けたら手を離す・勝ったら相手の手をつかむ。反対の手でジャンケンをしたり、勝ち負け後の動きを交換したりすると楽しい。3歳からは脳の働きが活発になるので、ジャンケンを早めに教えると遊びの幅が広がる。

『ジャンケンクルッ』…ジャンケンに負けたら一回転する。梅雨時など外で遊べないときには室内での運動にもよい。

『バルーン』…持ち方は肩幅程度開き、親指を下にしてつかむ。バルーンは行っている本人が見えないので、2グループあったら見合うのもよい。バルーンは指導者の指示が大切である。曲の1番と2番は同じ動きでよい。サビの部分は一番盛り上がる技を入れる。早めに音楽を決めて、幼児が音楽に慣れるようにすると、曲に合わせて動きを覚えやすい。

V 研究の成果と課題

総会をはじめ実技研修会、講演会など多くの会員同士が顔を合わせて学び合い、実りある研修となった。また、夏季研修会は、誰もが参加しやすいようにオンラインで実施し、園の同僚と教材研究や幼児理解について共に学び合い実践につなげられたことは、会員の専門性を高めることにつなげることができた。今後もこれまでの伝統を大切にしながら、各区市の会員同士が更に結束して、未来ある子供たちの豊かな育ちのために、共に学び、研鑽を積み重ね、事業の充実・発展に努める。

＜令和6年度連絡先＞

団体名		東京都公立幼稚園・こども園教育研究会	
代表者	所属	港区立芝浦幼稚園	
	職 氏名	園長 青山 伸子	
	連絡先	03-3452-0574	
事務局	所属	港区立芝浦幼稚園	
	職 氏名	園長 青山 伸子	
	連絡先	03-3452-0574	
団体ホームページ	URL	—	二次元コード
		—	—